

## ISO-WG（エジンバラ）の結果報告（案）

### 1. 日程・場所

開催期間：2017年12月12日～14日

開催場所：スコットランド・エジンバラ

### 2. 参加者

日本国参加者： 大野委員、環境省 高松主査、エックス都市研究所 渡辺

参加者国： カナダ（コンビナー）、米国、フランス（事務局）、ポーランド、イギリス、デンマーク、スイス、欧州委員会、オーストラリア、マレーシア、韓国、日本

### 3. 議題

ISO 14034 規格に基づく Technical Report (TR) を作成することとなり、前回 WG の議論を反映した TR 案が配布され、これに対するコメントをメンバーが提出していた。会議では、個別のコメントを議論し、今後の作業を整理した。

### 4. 議事概要

#### 4.1 TR 案の検討

①イントロダクション、義務規定、用語と定義については、必要を含めて今後構成を整理することとなった。また、日本が主導してスコープのドラフトを行なうこととなった。

②次の点については、様々な意見があり、再ドラフトして、さらに議論することとなった。

- ・ ISO 17020 への適合の確認方法

例：オプションの図と説明が適切でない、適合性評価を記載すべきでない

- ・ 実証機関に求める専門性をどこまで書くか

例：確認の方法を示すべき、人員のスキル・資格まで書くべきか

- ・ 申請前のプロセス

例：プレスクリーニングを書くべきか、書く場合の内容

- ・ 実証手続きのチェックリスト

例：各段階の確認事項を具体的に記載すべきか

- ・ データの質の確保

例：データの質の評価が必要

## 4.2 今後の検討

目次別に担当者を決めて再ドラフトすることとなった。スケジュールは以下のとおり。

- |        |   |
|--------|---|
| 2月9日   | 再ドラフト送付締め切り（スコープ、ISO 17020 への適合の確認については、大野委員が取りまとめ担当） |
| 3月始め   | TR 案送付  |
| 4月4～6日 | 次回 WG （場所はパリが候補だが追って決定）                               |
| 9月     | 次々回 WG （東京の予定）  |